

# 留 学 報 告 書

(受入れ交換留学生)

記入日：2016年9月15日

出身国	タイ
出身大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学 人文学部 (英) Srinakharinwirot University Faculty of Humanities
明治大学での留学期間	2015年9月～2016年8月

日本に留学しようと決めた理由	本当の日本人の生活や文化を自分で見たいと思っていました。タイにいる時、日本人と話せるチャンスはあまりありませんので、日本に行ったら日本人と話さなくても毎日日本語を聞く機会があります。もちろん、日本人と話せることも多いです。その結果、日本語が上達すると思いました。
明治大学情報コミュニケーション学部を選んだ理由	実は私の場合、留学できる学部は情報コミュニケーション学部しか選べません。でも、自分自身には2014年の明治大学の情報コミュニケーション学部の短期プログラムに参加したことがありますので、日本人の友達がいました。ですから、情報コミュニケーション学部にしました。
情報コミュニケーション学部・学生の雰囲気	情報コミュニケーション学部の方が優しく、質問に丁寧に答えてくれました。お世話になりました。それに、日本人の友達ができて嬉しかったです。一緒にご飯を食べたりして楽しかったです。
宿舎の雰囲気	<input checked="" type="checkbox"/> 和泉IH <input type="checkbox"/> 狛江IH <input type="checkbox"/> その他( ) 寮はきれいで、現代的だったので、とても気に入りました。寮の管理者もとても優しく、知らないことを教えてもらって本当にお世話になりました。それに、ルームメイトもいます。ルームメイトは色々な国から来た5人で、お互いに自分の国のことを話したり、パーティをしたり、一緒に料理を作ったり、遊んだりしてとても楽しかったです。最高でした!
交友関係	最初は初めて会ったばかりなので、皆まだ恥ずかしくてあまりお互いに話しかけなかったが、一緒に勉強し続けるとだんだん仲良くなり、食事をしたり、遊んだりするようになりました。いい友達がたくさんでき、嬉しかったし、楽しかったです。
学習内容・勉強について	日本語授業の学習内容には知らない単語がたくさんありましたが、どれも役立つ単語でした。内容もとても面白くて、先生はそれぞれの国の話についてよくディスカッションをさせました。以前は自分の国のことについてあまり考えませんでした。これを機に振り返るようになりました。

課題・試験について	日本語の授業はタイと比べて課題が少ないですが、授業の前に予習をしないと、ついて行くのが大変なので毎日予習をしなければなりません。そのおかげで、日本語が上達し、試験もよくできました。					
大学外の活動について	留学している間にバイトをしました。小さいタイ料理屋でしたが、オーナーが日本人なので、日本語などの勉強になりました。また、日本国内の関西や箱根や富士山などの様々なところに遊びに行って、日本の文化、人々の生活に直接触れることができました。貴重な経験でした。					
ある平日のスケジュール	6時:起床、9~12時:授業、12~13時:昼食、13~18時:自由時間、18~19時:夕食、19~22時:予習、復習、23時:就寝					
ある休日のスケジュール	11~15時:バイト、18~22時:自由時間(買い物、部屋の掃除など)					
情報コミュニケーション学部で得たことや留学の感想	留学する前には1年間留学したら、どうなるだろうかと思っていました。日本人との授業、色々な国から来た友達との日本語の授業、日本人とのバイト、日本国内の旅行などの様々な体験ができました。素晴らしい経験がたくさんできました。留学しに来て良かったです。					
私の時間割	時間割表を公開します。					
<b>春学期</b>	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限		日本語4(総合)		日本語4(総合)	日本語4(総合)	
2限		日本語4(読解)				
3限						
4限						
5限				問題解決ゼミナールI		
6限						

